

全体的な計画

金丸ぶらすこども園

教育・保育理念		「げんきな子・やさしい子・考える子」子ども一人ひとりを大切に、保護者からも信頼され、地域に根ざす園を目指す											
教育・保育方針		「健康で意欲的な活動をし、自分を大切に、互いに協力し合える子ども」になるよう人間形成の基礎を築く。					園の教育・保育目標			・健康な体・体力づくりを通して、強い心を育てる。 ・創造（想像）力をひきたし豊かな心を育てる。		・思いやり的心を育てる。 ・最後までやり通す、がんばり的心を育てる。	
教育・保育時間	2,3号認定/基本保育時間 ＊標準保育 7:30～18:30 ＊短時間保育 8:30～16:30 1号認定/基本保育時間 ＊標準保育 8:30～16:30	園行事	・進級説明会 ・あそび博 ・ひな祭り ・遠足(年長)		・保育参観 ・バス遠足 ・お別れ遠足 ・遠足(年長)	・こいのぼりの集い ・音楽会 ・クリスマス会 ・卒園式	・運動会・七夕 ・お泊り保育(年長) ・節分・保育参観(年長) ・6年生同窓会	・保育参観 ・高良山登山(年長・大谷幼)	小学校との連携	・小学校との交流 ・小学校参観日出席 ・園訪問 ・なかなよし遠足(大谷幼稚園・金丸小学校) ・児童保育要録を小学校へ送付			
社会的責任			教育と保育の基本と目標							子どもの保育目標			
・子どもの人権尊重 ・教育 ・保育内容を適切に説明 ・個人情報の保護と苦情解決			《生活を通して、生きる力を育成するように教育・保育の目標の達成に努める》 ①活動の体験を十分に積み重ねる ②養護による自己発揮を考慮し、乳幼児期にふさわしい生活を展開する ③遊びを通した指導を中心として5領域のねらいを達成する ④一人ひとりの発達の議題に即した教育内容を実践する							0歳児 一人ひとりの生活のリズムを整え安心して過ごす 1歳児 身の回りのことに興味を持ちいろいろな遊びを楽しむ 2歳児 好きな遊びを楽しみながら友だちとの関わりを楽しむ 3歳児 社会性が育ち異年齢との生活や遊びを楽しむ 4歳児 友だちとのつながりを広げルールを守って行動する 5歳児 就学への期待や自信を持ち目標に向かって意欲的に行動する			
養護（保育教諭が行う事項）	年齢	乳児	1歳児(満1歳以上)	2歳児(満3歳児含む)	3歳児	4歳児	5歳児	保育所保育指針に定めるねらい		幼児教育で育みたい資質・能力			
	生命の保持	・保健的で安全な環境を作り、常に体の状態を細かく観察し、一人ひとりが快適に過ごせる様に授乳や睡眠などの生活リズムを整えていく	・安心できる保育教諭との関係の下で一人ひとりの生理的欲求が、十分に満たされる様にする	・一人ひとりの生活リズムや生理的欲求を満たし、安全で安心できる環境の中で快適に生活できるようにする	・一人ひとりの健康状態を観察、把握し安全で快適に過ごせる様にする	・一人ひとりの健康状態や発達状態を把握し子ども自身の体の異常の際は知らせることができるようにする	・基本的な生活習慣が身に付き自分ができたことに自信や満足感を持たせる	・一人ひとりの子どもが快適に生活できるようにする ・一人ひとりの子どもが健康で安全に過ごせるようにする ・一人ひとりの子どもの生理的欲求が十分に満たされるようにする ・一人ひとりの子どもの健康管理が、積極的に図られるようにする	◎豊かな体験を通じて、感じたり、気づいたり、分かるようになったりする「知識及び技能の基」 ◎気づいたことやできるようになったことなどを思い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする「思考力、判断力、表現力等の基礎」				
	情緒の安定	・一人ひとりの欲求を大切に受け止め、保育教諭との情緒的な結びつきを強めながら人間関係の基礎を作る	・自我の芽生えを喜び、受け止めてもらう事により、保育教諭や周りの大人への信頼感が育まるようにする	・子どもたちの欲求、言葉を受け止め安定した信頼関係の元で、少しずつ自分の気持ちを表現できるようにする	・自分の気持ちを伝えるだけではなく相手の思いを感じとる事の大切さを知らせる	・子どもとの感性を豊かにするために受け止めながら、友達同士やりとりを重ね、お互いの良さを認め、集団の中で一人ひとりの良さを活かしていく	・見たこと聞いた事感じたこと考えた事を言葉で伝えることができるようにする	・一人ひとりの子どもが、安心感を持って過ごせるようにする ・一人ひとりの子どもが、自分の気持ちを安心して表すことができるようにする ・一人ひとりの子どもが、周囲から主体として受け止められ、主体として育ち自分を肯定する気持ちが育まれていくようにする	◎心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする「学びに向かう力、人間性等」				
ねらい及び内容													
三つの視点		乳児	教育	1歳児(満1歳以上)	2歳児(満3歳児含む)	3歳児	4歳児	5歳児	幼保連携型認定こども園教育・保育要領に定めるねらい		幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿		
健やかに伸び伸びと育つ		健康	健康	・歩行が完成し、体を動かすことが楽しいと感じる ・保育教諭と一緒に安全な環境のもとで模倣したり、手遊びをして体を動かす	・保育教諭に見守れる中で基本的な生活習慣が身につく。自分のことは自分で行うとする ・保育教諭の見守り中、身の回りのことを自分からしようとする	・生活に必要な基本的な生活習慣や身の回りのことを自分で行おうとする ・十分に体を動かしたいいろいろな道具を使った遊びを楽しむ	・健康に必要な習慣を身につけ安全に留意して行動できるようにする ・運動遊びに意欲を持ち、様々な道具や活動などに挑戦して遊ぶ	・清潔と予防との関係が分かり体や身の回りを清潔にし健康維持の習慣を身に付ける ・健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける	◎健康な心と体				
				人間関係	・保育教諭や友だちに関心を持ち、親しみを感じ一緒に過ごす事の喜びを感じる ・「自分がしたいことやしてほしいことを伝える ・好きなおもちゃや遊びを見つけ、着ちあっている環境の中で遊びを楽しむ	・友だちとの関わりを通して簡単な約束事があることを知り、一緒に遊んだり同じ行動をして楽しむ	・保育教諭や友だちとの安定した関係の中で関わっているなかで、思いやりや親しみを待つ ・友だちとのかかわりを徐々に深めるが、簡単なルールを守って遊ぶとする	・「同年齢や異年齢の友だちなど様々な友だちと関わっているなかで、思いやりや親しみを待つ ・思い通りにいかない不安や葛藤を経験する中で、自分の思いを伝えようとし、相手の思いに気づく	・グループの生活や遊びの中で年長児としての自覚を持ち、友だちや年下の子を支え思い思いの気持ちを持つ ・地域の人や近隣の友だちなど自分の生活に関係の深い人達に親しみを待つ	◎自立心 ◎協同性			
身近な人と気持ちが通じ合う		環境	・身近な保育教諭のもとで基礎的な信頼感を育てる ・「喃語、片言を優しく受け止めてもらい、発語や保育士とのやりとりを楽しむ	・「安全で活動しやすい環境の中で、身近な自然と触れ、おもちゃの触れやすさや十分に味わい、行動範囲を広げる ・好きなおもちゃや遊びを見つけ、着ちあっている環境の中で遊びを楽しむ	・簡単な造形遊びをしながら、いろいろな素材、教材に触れる ・身の回りの事物を興味、興味を持つ	・身近な環境に興味や関心を持ち関わってあそぶ ・身の周りの物の色、量、形などに関心を持ち、分けたり集めたりする	・身近な環境に興味関心を持ち関わっているなかで遊びや生活に取り入れようとする ・様々な物事や自然に触れ、積極的に関わる中で生活や遊びに取り入れようとする	・日常生活の中で数や量や図形簡単な標識や文字に関心を持つ ・様々な物事や自然に主体的に関わり、試したり発見したりしながら、工夫して遊ぶ	◎道徳性・規範意識の芽生え ◎社会生活との関わり				
			言葉	・日常生活に必要な言葉が分かり、使う楽しさを味わう ・興味のある絵本を保育教諭と一緒に繰り返し読み、喜んで聞いたり言葉に触れる	・自分のしたいことして欲しいことを、言葉で伝える ・遊びの中で言葉を使う事や、言葉を使わず事の喜びを感じる	・保育教諭や友だちとの会話や、言葉に興味を持ち、親しみを待って話をし ・絵本や物語に興味を持って聞く	・自分の経験した事や、思っていることを話して言葉で表す ・絵本や物語、なぞなぞなどの言葉遊びを楽しみ、イメージを広げる	・保育教諭や友だちの話をよく聞いて内容を理解したり、自分の気持ちを伝えようとする ・遊びや生活の中で文字や記号に親しむ	◎思考力の芽生え ◎自然との関わり・生命尊重				
身近なものとの関わり感性が育つ		表現	・保育教諭の声や表情に安心感を感じ、快、不快を表す表情を表現する	・自分の意志や欲求を言葉や動作で相手に伝える ・リズムに合わせて体を動かしたり、保育教諭と一緒に唄ったり手遊びをしたりする	・うたを唄ったり、音楽に合わせて体を動かしたりすることを楽しむ ・興味のあることや経験したことを、生活やあそびの中で表現する	・「見たり聞いたり感じたこと」を言葉で表現したりイメージを広げたりして楽しさを味わう	・身近な素材や用具を扱い工夫しながら様々な表現遊びを楽しむ感性が育つ ・「感じたこと、考えたことなど色々な色や形で表現する	・日常生活の中で数や量や図形簡単な標識や文字に関心を持つ ・様々な物事や自然に主体的に関わり、試したり発見したりしながら、工夫して遊ぶ	◎数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ◎言葉による伝え合い				
			食育	・「特定の保育教諭との信頼関係のもと一人ひとりに応じた授乳を行い、離乳食を進めて健やかな発育、発達を促す	・「いろいろな食べ物を見る、触る、噛んで味わう経験を通して、自分で進んで食べようとする	・食生活に必要な、基本的な習慣や態度に関心を持つ	・食事に必要な基本的な習慣や態度を身に付ける	・「栽培、食事などを通して、身近な存在に親しみをもち、すべての命を大切にすることを学ぶ	・生ごみリサイクルを通して、野菜作りを経験し、収穫する喜びを味わう	◎豊かな感性と表現			
健康支援		・身体測定(毎月)・内科・歯科検診(年2回)・尿(年2回)					環境・衛生管理	・施設内外の設備、用具等の消毒、安全管理及び自主点検(10日に1回)・全職員の検便・全職員の健康診断					
安全対策 事故防止		・毎月の避難訓練(火災、地震、不審者対応)・消防点検					保護者・地域等への支援	・保育参観・クラス懇談会・年長児就学前保育参観・育児相談等・実習生、職場体験受け入れ					
研修計画		・園内研修(ケース会議)・園外研修(継続研修等)・県外研修					特色ある教育と保育	【異年齢保育】…コーナー保育(室内コーナー・戸外コーナー) ・給食セミバイキング式 ・音楽遊び ・派遣講師による英語教室 ・体育教室 ・水泳教室					
地域の行事への参加		・町内の老人会(敬老会)・メゾンマリア(敬老会)・メゾンマリアデイクア(七夕会・クリスマス会・ひなまつり)交流会					自己評価	保育士の評価(自己評価チェックリストの作成と子どもの評価の確立) 全体的な計画・事業計画の策定 基本理念・保育方針・全体的な計画の理解					